

国内外の販売活動強化につながるエコステージ

リファインテック株式会社(本社:神奈川県横浜市 笠井 昭宏社長 従業員 45 名)は創業 1953 年の、金属顕微鏡試料調整用の金相機器・精密切断機の総合メーカーとして製品の製造及び機器に関わる消耗品の販売などを主な事業としています。特にプログラム制御の全自動研磨機、全自動埋込機、負荷の変化に対応して送り速度を自動制御する自動切断機等を、業界の中で先がけ開発しております。これら全ての事業活動において環境負荷を低減するために、環境マネジメントシステムを構築し、活動を通じて環境保全レベル向上、汚染の予防を目指します。

2007 年 3 月 8 日、本社、本社工場、大阪・名古屋・水戸の各営業所の全社参画によるキックオフを行い、エコステージによる環境経営システムの構築を開始し、2007 年 8 月 10 日 エコステージ 1 の登録評価を受け、認証取得しました。

エコステージの取り組みについて、取締役営業部長で環境管理責任者である永田 博志氏にお伺いしました。

<エコステージ導入の目的(もしくはきっかけ)をお教え下さい。>

永田氏: 当社の製品は、国内はもとより海外にも出荷されており、従前から環境保全には充分対応してきたつもりでしたが、最近、お客様からの環境認証取得の要請や、アンケート調査なども増えてきておりました。そこで、体系化した環境マネジメントシステムを構築し活動を継続・改善できるようにするためエコステージの導入を決めました。

<具体的な活動内容を教えてください。>

永田氏: 当面の重点取り組みは、

- ①産業廃棄物の分別管理を徹底し、廃棄物の排出量を削減すると共に、リサイクル化を推進して環境保全に努める。
 - ②省資源・省エネルギー化に取組み環境負荷の低減を図る。
 - ③社員の環境意識の向上に努め、積極的に地域の環境活動に参加し、社会貢献に努める。
- です。

<エコステージ導入による変化や具体的な効果はございましたか?>

永田氏: 今までも、月一回、定例の清掃活動が行なわれてきましたが、より細かく区分けした清掃活動にし、また、ゴミの分別処理もルールに従い、全社員の環境意識も高まってきました。また、RoHS 対応を含め有害化学物質の含有のない部品・資材の調達を重視し、管理体制の構築をしています。

<活動の中で、ご苦労された点・難しかった点などがございましたか?>

永田氏: 最初は、エコステージの規格を十分に理解することが出来ずに進めていたため、構築順序が逆になったり、用語の意味を間違えたりして、コンサルタントの方に幾度となく指導を受けました。そのお陰でなんとか取り組むことが出来ました。

<それでは、今後の取り組み計画をお聞かせ下さい。>

永田氏: 今回は 5S 活動とリサイクルを中心にしてきましたが、今後は、作業ミスの削減、適正在庫の維持など、より当社の本業に沿った活動に力を入れ、エコステージ 2 の取得を目指します。

